

## 令和4年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・パフォーマンステストの実施によってコミュニケーションへの関心・意欲を高めることができた。
- ・リスニング分野において、対話文や文章の聞き取りができる生徒が増えた。

#### (2) 課題

- ・与えられたテーマでの作文はできるが、場面に応じた表現を用いて作文する力が弱いいため表現の運用力を身に付ける必要がある。
- ・基礎的な語い力、語形、語法などの定着が必要である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	目標を上回っている	/	/
第2学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第1学年時)	/
第3学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第2学年時)	/

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・文字や英単語の読みや意味の理解はできているが、書く力が不十分である。</li> <li>・読み取る力を高めるために、基本語いの定着と意欲を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・対話の内容を理解し、概要を捉える力を付ける必要がある。</li> <li>・基本的な英語表現を身に付ける必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を下回っている。</li> <li>・英語で表現をする力（語い・文型）を学び運用する力を全体的に付ける必要がある。</li> </ul>

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・リスニングによる内容の理解はできている。</li> <li>・語形や語法の理解が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・自分のことについてまとめた内容で説明する力はある。</li> <li>・場面に応じて英作文を書く力が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・内容を理解しようとする姿勢はよく見られる。</li> <li>・場面や状況に応じた英語による表現を身に付けていく必要がある。</li> </ul>

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・読み取りや聞き取りの基本的な技能はある。</li> <li>・語形や語法の理解が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・概要を捉えたり、簡単な説明をする力はある。</li> <li>・必要な情報を理解し、英語で答える力を伸ばす必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回っている。</li> <li>・概要をとらえたり、表現することに対して主体的に取り組むことができる。</li> <li>・細部に注目した理解力・表現力を伸ばす必要がある。</li> </ul>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語テストや基本表現を繰り返し行い、語い・文型の定着を図る。</li> <li>・まとまった文章から概要を掴ませる学習を授業に組み込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった文章を読むときには、場面や状況を捉えながら内容を理解させる。</li> <li>・会話練習を通して、場に応じた表現を学んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT講師とのパフォーマンステストを実施し、既習表現を使用する場面を多く設ける。</li> </ul>

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テストやスピーチの作文を通じて、既習の文法事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じた英語表現を身に付けるため、会話による対話練習と、既習の文法を活用した作文練習を積極的に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の歌を歌う活動により、英語を楽しく発話する下地を定着させる。</li> <li>・単元ごとに段階別の課題を設定し、生徒自らが課題を選んで取り組めるように計画する。</li> </ul>

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・帯活動で絵の説明や、リテリングを行い、習得した文型の定着を図るとともに用法の誤りを共有する。</li><li>・小テストや単元テストで。知識・技能の定着を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・意味が分からない語を推測しながら読んだり、聞いたる習慣を身に付ける。</li><li>・意味が分かるようになった文を音読や暗唱をして表現力を豊かにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・帯活動で日常生活に関する英問英答やスピーチを行い、話すことを楽しむ。</li><li>・単元ごとに課題を設定し、見通しをもって取り組む態度を養う。</li></ul>